

中部産業遺産研究会 会報 第48号

Newsletter of The Chubu Society For The Industrial Heritage

目次

・第119回 定例研究会の開催について	1
・第118回 定例研究会・見学会の報告	1
・ものづくり文化再発見！ウォーキングの開催について	3
・お知らせ	3

・第119回 定例研究会の開催について

日時：2012年11月25日(日)、午後1時より

場所：名城大学名駅サテライト 会議室 (収容人数 36人)

1. 研究報告、調査報告

「産業遺産の見方・調べ方 日本の真空管ラジオ」渡辺治男・予定

「産業遺産の見方・調べ方 養蚕農家」大橋公雄・予定

「中部地方の工業学校の歴史」水野信太郎・予定

「今、中川運河に何が起きているか!!」柳田哲雄・予定

2. その他の諸報告、保存問題など

「TICCIH in 台湾 報告」石田正治・予定

「ミニ講座 ニジニータギル憲章(2) 理論を深める」石田正治・予定

「産業考古学会2012年度全国大会(新居浜市) 報告」寺沢安正・予定

3. 研究誌、会報(研究会ニュースレター)

4. シンポジウム

5. その他

・第118回 定例研究会・見学会の報告

定例研究会

司会(大橋公雄)・記録(野口英一郎) 参加:18名

場所:豊田市役所足助所 2階第2会議室、開催日:2012/09/23(日)

13:00

「見学会の概要説明」天野博之

配布物 ・町並み散策ナビ (伝統的建造物群保存地区リーフレット)

・「足助」 (香嵐渓周辺観光用リーフレット)

・おいでん「とよた」 (豊田市観光ガイドブック)

・とよた五平餅 (とよた五平餅学会)

「ものづくり文化再発見！ウォーキングの開催と説明者派遣のお願い」柳田哲雄

「第8回「2012年度 パネル展」見学会の開催報告」山田貢

「次回例会開催報告」野口英一郎

見学会

案内（天野博之）・記録（野口英一朗）参加：20名
場所：豊田市役足助地区歴史的町並み、開催日：2012/09/23（日）

13:30

見学先：豊田市足助重要伝統的建造物群保存地区

支所（発） 巴橋

西町：常夜灯・「香嵐舎観光部」街路灯跡・旅館「玉田屋」・西町郷蔵

新町：旧道・馬頭観音・弓釣具製造「いろは」工場・銭湯跡・新町郷蔵

西町：中橋・足助商工会建物（旧足助警察署）・塩の道連れ屋・道標

新町：マンリン小路

本町：旧足助劇場・旧寿々家・地蔵小路・田口家住宅・旧紙屋鈴木家住宅

田町：足助町道路元標・川村屋・足助中馬館（旧稲橋銀行足助支店）・荻屋岡本家住宅・

旧ツチャ食堂・川沿いの町並み景観・旧洋裁学校建物 支所

16:30

天野博之会員の案内による中部産業遺産研究会を対象とした、豊田市足助地区の歴史的町並みの見学会が、9月23日午後に行われた。当時は雨模様の天候になったが20名の参加者があった。町並み見学を開始する前に豊田市足助支所2階の会議室において、当日配布されたリーフレットを片手に概略の説明があった。

支所を出発して巴橋を渡り西町から見学が始まった。足助川を渡って新町に入り、弓道の矢を製造している「いろは」工場の内部を見て、再び西町に入り建物や道標の説明を聞いた。新町へ戻り本町に移り、道脇に地元の方が製作したクカラクリの展示を興味深く鑑賞し、普段は閉じられている田口家住宅も内部を見学して田町に向った。田町では足助中馬館・荻屋岡本家も内部を拝見して、真弓橋の袂まで行った。町並みだけを歩き外観だけを眺めるだけではなく、狭い小路や建物の1階が通路になっている所を通して一筆書きのように、足助地区の歴史的町並みを巡った。一般には見られない場所も見学でき、2時間程度の予定が3時間近くかかり、案内された天野会員には大変感謝いたします。



「足助」（香嵐溪周遊観光用リーフレット）より一部掲載

・ものづくり文化再発見！ウォーキングの開催について

今年度は、下記のように秋に2回開催します。当日のご参加や、産業遺産についての説明のご協力をお願いします。コースの概略の で囲まれた所で、当会が説明を行います。

1 豊山コース 11月11日(日) 8:40~15:00

稲置街道をたどり、「川」の遺産と「卸売市場」を見て歩こう！

「高速道路」が分かる施設から、利水の産業遺産と伝統的な「名古屋友禅」工房を探訪。稲置街道をたどって、「マグロの解体ショー」などのイベントで賑わう北部市場へ！

コースの概略：北区役所(スタート) ネックス・プラザ(名高速管理事務所) 渡辺染工所
(名古屋友禅) 御用水跡街園 黒川樋門 元杵樋 庄内川頭首工
味鋳神社&護国院 曲水宴 首切地蔵 楠地区会館 名古屋
市中央卸売市場北部市場 愛知県営名古屋空港(ゴール)

出発地点の北区役所では、黒川(堀川)の歴史等の説明を行う予定です。

集合時間：8:40(出発9:00)

集合場所：名古屋市北区役所正面玄関前(地下鉄名城線黒川駅より約7分)

ゴール：愛知県営名古屋空港(名古屋駅他へのバス便あり)

申込期限：2012年11月7日(水)まで(当日消印有効)、当日参加OK

2 蟹江コース 11月24日(土) 8:40~15:00

酒蔵、鉢花、漬物...。地場産品の現場と歴史&街道遺産

水郷として知られる蟹江町。伊勢湾台風被害から立上がった「鉢花」から、伝統の「味醂」「漬物」など地場産品を探訪し、歴史遺産を巡ります。

コースの概略：JR関西線蟹江駅(スタート) (伝)信長街道 龍照院 御葎橋
飾橋 西尾張中央道歩道(中央道からの眺望) フラワーガーデン戸谷
佐屋川釣堀 足湯かにえの郷 まちなか交流センター 甘強酒造
(酒・味醂) 蟹江城址公園 歴史民俗資料館 井川商店(漬物)
JR関西蟹江駅(ゴール)

まちなか交流センターでは、蟹江の特殊産業として「愛知県特殊産業の由来」に記載されている「味醂」「線香」「刺繍」「無花果(いちじく)」の説明を行う予定です。まちなか交流センターは、近鉄蟹江駅から徒歩15分程のところにあります。

集合時間：8:40(出発9:00)

集合場所：JR関西線蟹江駅(JR名古屋駅より8~15分)

ゴール：JR関西線蟹江駅

申込期限：2012年11月20日(火)まで(当日消印有効)、当日参加OK

・お知らせ

「2012年度 パネル展・名古屋のまちづくりを発展させた鉄道網」(仮称)の勉強会の開催

今回の勉強会は2012/12/09(日)の14:00~16:30に名古屋都市センター13Fにて行う予定です。今回のパネル展は、武豊線・東海道線・中央線・名鉄・近鉄・名古屋市電・地下鉄・名古屋駅をはじめとした主要駅などについてです。参考となる文献は、新修名古屋市史5巻第四節、交通・運輸業の発展(P526~P550)、シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第13回鉄道遺産の現状と保存問題および第18回東海地方を駆け抜けた高速電車・新性能電車、「中部の電力のあゆみ」第6回中部の電気鉄道100年があります。勉強会の参加者で取り組んでも良いテーマを出し合い進めて行きます。

勉強会は、関心のある方なら誰でも参加出来ますので、ご出席ください。資料がある方は15部用意してください。この勉強会に出席したい方やご意見などは、担当の大橋公雄幹事または事務局の野口英一朗までお知らせください。

パネル展の開催は来年の2013/01/22(火)~02/03(日)までで、公開の定例研究会を2013/01/27(日)

に開催する予定です。

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第31回の実行委員会の開催

シンポジウム「日本の技術史を見る眼」の実行委員会を、2012/11/25(日)の10:00～12:00に定例研究会と同じ会場で行う予定です。会員であれば参加できます。この実行委員会に出席希望やご意見などは、担当の山田貢シンポジウム事務局(yamada3a1415926535@ca2.so-net.ne.jp)または当会事務局までお知らせください。

事務局より住所・所属等が変更になった会員へのお願い

年度が替わるなどで職場や住所、電子メールアドレスが変更になった会員は、次の当会事務局までご連絡ください。

連絡は、次の3方法があります。 h.noguchi@uotushaji.co.jp、電子メール版ニュースレターをそのまま返信(天野副会長と橋本広報幹事にも同時に送られます) 自宅FAX 052-453-5838。

会計幹事より年会費納入について

2012年度の年会費の納入をお待ちしています。例会時に現金支払いも出来ますが、担当者が欠席する場合もありますので、手数料が発生しますが下記の郵便振替や銀行口座をご利用ください。

個人の年会費は4,000円です。

[郵便振替] 口座番号: 00840-1-174258 口座名: 中部産業遺産研究会

[銀行口座] 三菱東京UFJ銀行 鳴海支店 普通預金 口座番号: 1531266

口座名: 中部産業遺産研究会 会計 市野清志

また、2011年度の未納の方も数名おられ、2年間未納の場合は退会となります。

問い合わせは、市野会計幹事(ichino82@tcp-ip.or.jp)または当会事務局までお願いします。

研究誌『産業遺産研究』第20号の編集委員会より

論文・調査報告や研究ノートなど原稿を募集しています。原稿の締め切りは来年3月末です。

会報編集委員会より

編集委員の募集および、ご意見やご希望などお願いします。

産業遺産に関する情報・短信・文献紹介などお気軽にご投稿ください。投稿は郵送または電子メールでお送りください。写真には必ず撮影者と撮影日時を記載したメモを貼り付けてください。原稿はテキスト形式で作成していただくこと編集作業がしやすいので、なるべくテキスト形式でお願いします。原稿送付先: 野口英一朗 noguchi.@d5.dion.ne.jp (アドレスにご注意ください。@の前にドット。)

電子メールをお持ちの会員で、橋本幹事から電子メールニュースが配信されていない会員は、メールにて、橋本幹事(hidekih@wine.plala.or.jp)までご連絡ください。すでに着信確認メールを出されている方は、再度送信いただく必要はありません。

中部産業遺産研究会会報 第48号

Newsletter of The Chubu Society For The Industrial Heritage Vol.48 2012-11

発行: 中部産業遺産研究会

発行人: 佐々木享

発行日: 2012年11月1日

編集委員: 中住健二郎・橋本英樹・伴公太・野口英一朗

事務局: 〒453-0014 名古屋市中村区則武2-34-12 シェルコ-ト則武502 野口英一朗気付
中部産業遺産研究会のホームページは、<http://csih.sakura.ne.jp/>です。

掲載記事の無断転載を禁じます。

Copyright 2008 The Chubu Society For The Industrial Heritage, All rights reserved.